

開講科目名 Course	アジア法研究演習（1年） / Seminar on Asian Law
時間割コード Course Code	14122
開講所属 Course Offered by	法学研究科修士課程 /
開始年度・学期 Start Year・Semester	2021年度 / Academic Year 前期
曜限 Day, Period	水 / Wed 3
開講区分 semester offered	通年 / .
単位数 Credits	4.0
学年 Year	1
主担当教員 Main Instructor	佐藤 直史
科目区分 Course Group	研究演習科目
教室 Classroom	7 D 5 演習室
講義形式 Lecture Style	演習科目
担当教員名 Instructor (担当教員所属名 Affiliation)	佐藤 直史（法学部）
授業の目標	
授業の概要	<p>【授業の目標】</p> <p>アジア各国の法に関する基礎的な理解（各国の法の背景や日本法との比較・分析を含む。）を前提に、法の視点から、アジア各国又は国際社会における課題を多面的・多角的に分析・理解できる能力を有していることを示すことのできる成果物（修士論文）の作成につながる研究を行う。</p> <p>【授業の概要】</p> <p>受講生それぞれが選定した研究テーマに基づき、そのテーマに含まれる具体的なトピックに関する報告、質疑及び意見交換を行う。こうした取組みを通じて、研究テーマに関する論点（リサーチ・クエスチョン）を更に適切なものに改善できるようになるとともに、研究のスコープ等についてもより適切なものとなるよう、ディスカッションを中心とした授業を行う。</p> <p>【評価方法】</p> <p>報告の内容や授業への貢献度等を総合的に勘案して評価する。</p>
評価方法	
教員の指導に従わない以外の事由による失格基準	
授業計画	
テキスト	指定しない。授業の中で適宜資料を配布する。
参考書	指定しない。トピックに応じて授業の中で適宜指示する。
アクティブラーニング、ディスカッション、実習等	
アクティブラーニング、ディスカッション、実習等の内容	
実務経験のある担当教員による授業	
担当教員の実務経験を活かした授業の内容	
質問への対応方法	
フィードバックの方法	
予習・復習等、準備学習の内容及び時間	
使用言語	
SDGs 17の目標（1～10）	
SDGs 17の目標（11～17）	